

技術検討作業班 審議経過について

平成19年4月17日
情報通信審議会 情報通信技術分科会
IPネットワーク設備委員会
技術検討作業班

技術検討作業班の検討経過について

技術検討作業班では、本年1月の0AB～J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件の答申後、第10回会合を開催して、当面の検討課題と論点等について検討を行っているところである。主な検討概要は以下のとおり。

1. 当面の検討課題

IPネットワーク設備委員会報告(平成19年1月「第7章 今後の検討課題等」)から以下のとおり。(別紙参照)

- ◆IP電話に関する課題
- ◆コンテンツ配信サービスに関する課題
- ◆迷惑メール抑止手段に関する課題
- ◆固定・移動シームレスサービスに関する課題
- ◆重要通信・緊急通報の新たな確保方法に関する課題
- ◆端末・ネットワークとの接続に関する課題

2. 検討の基本的進め方

- ◆内外の動向や重要度、緊急性等を勘案しつつ、要求条件や具体的な検討項目の抽出、内容の検討を実施。
- ◆検討においては、技術設備面を中心に、必要に応じて関連する管理運用面等の課題を抽出し、それらについて、技術基準の在り方・技術的条件を中心にして標準化等の必要性も含めて検討。また、課題を解決すべき時期等の時間的要素も考慮。

3. 検討の体制

- ◆引き続き、次世代IPネットワーク推進フォーラム 技術基準検討WGと連携して検討を進める。

4. 今後の予定

- ◆検討項目の具体化や論点等について、アンケートを実施。今後、その結果も踏まえて、本年夏頃に向けて、検討の方向性等の中間的なとりまとめを予定。

主な課題	
IP電話	(1)0AB～J番号のIP電話の基本的事項以外のIP電話(番号体系による検討) (2)高機能IP電話 (3)IP電話における新たなサービスの可能性等
コンテンツ配信サービス	(1)基本配信モデルの具現化 (2)品質条件の在り方 (3)輻輳等への対応 (4)セキュリティの確保等
迷惑メール抑止手段	(1)迷惑メール抑止に有効な手段
固定・移動シームレスサービス	(1)サービスのモデル化 (2)機能要件 (3)品質要件 (4)アクセス網切替に伴う品質・性能上の課題
重要通信・緊急通報の新たな確保方法	(1)次世代IPネットワークにおける重要通信・緊急通報の新たな可能性
端末・ネットワークとの接続	(1)端末網の品質基準の在り方 (2)端末とネットワークの接続条件、相互接続性 (3)安全性の確保 (4)利便性の向上